

和の評価方法【面積評価とはさみうちの原理】

n を 2 以上の自然数とする。次の問いに答えよ。

(1) 不等式

$$n \log n - n + 1 < \sum_{k=1}^n \log k < (n+1) \log n - n + 1$$

が成り立つことを示せ。

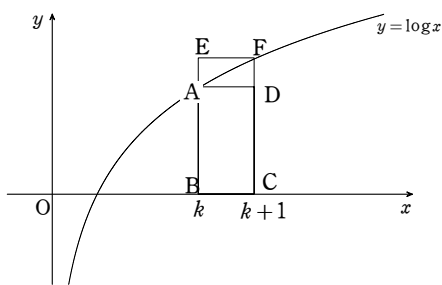
(2) 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} (n!)^{\frac{1}{n \log n}}$ を求めよ。

< '96 大阪大 >

【戦略】

単純に差を取る作戦は見通しが悪いです。

そこで、今回扱う和の形を評価する方法の 1 つとして「面積評価」という手法を考えます。



というグラフを考えることにより

$$\log k < \int_k^{k+1} \log x \, dx < \log(k+1)$$

という不等式を得ます。

この最左辺や最右辺に $k=1, 2, \dots$ として辺々加えることで $\sum \log k$ を登場させることを目論むわけです。

少し端っこの値ではイレギュラーに対応する必要がありますが、示すべき形を見て対応します。

(2) (1) で得た不等式の真ん中は $\log(n!)$ です。

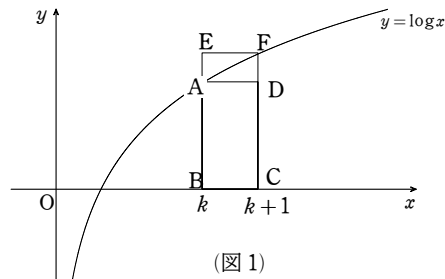
目標である $(n!)^{\frac{1}{n \log n}}$ の極限を考えるにあたり、 \log をとった

$$\frac{1}{n \log n} \log(n!)$$

を登場させます。

【解答】

(1)



(図1)において、 $y = \log x$ のグラフが上に凸であることも考えると
(長方形 ABCD の面積) $< \int_k^{k+1} \log x \, dx <$ (長方形 EBCF の面積)
であるから

$$\log k < \int_k^{k+1} \log x \, dx < \log(k+1) \dots (*)$$

(*) に $k=1, 2, \dots, n-1$ を代入して辺々加えると

$$\sum_{k=1}^{n-1} \log k < \int_1^2 \log x \, dx + \int_2^3 \log x \, dx + \dots + \int_{n-1}^n \log x \, dx < \sum_{k=1}^{n-1} \log(k+1)$$

すなわち、

$$\log 1 + \log 2 + \dots + \log(n-1) < \int_1^n \log x \, dx < \log 2 + \log 3 + \dots + \log n$$

$\log 1 = 0$ より最右辺に $\log 1$ を加えてもよく

$$\log 1 + \log 2 + \dots + \log(n-1) < \int_1^n \log x \, dx < \log 1 + \log 2 + \dots + \log n \dots \textcircled{1}$$

$$\int_1^n \log x \, dx = \left[x \log x - x \right]_1^n = n \log n - n + 1$$

これより、 $\textcircled{1}$ の右側の不等式から $n \log n - n + 1 < \sum_{k=1}^n \log k$ が示された。

$\textcircled{1}$ の左側の不等式より、

$$\log 1 + \log 2 + \dots + \log(n-1) + \log n < n \log n - n + 1 + \log n$$

ゆえに $\sum_{k=1}^n \log k < (n+1) \log n - n + 1$ が示された。

以上から、 $n \log n - n + 1 < \sum_{k=1}^n \log k < (n+1) \log n - n + 1$ が成立することが示された。

$$\begin{aligned}
 (2) \quad \sum_{k=1}^n \log k &= \log 1 + \log 2 + \cdots + \log n \\
 &= \log(1 \times 2 \times \cdots \times n) \\
 &= \log(n!)
 \end{aligned}$$

(1) で示した不等式の辺々に $\frac{1}{n \log n}$ をかけて

$$\frac{1}{n \log n}(n \log n - n + 1) < \frac{1}{n \log n} \cdot \log(n!) < \frac{1}{n \log n} \{(n+1) \log n - n + 1\}$$

すなわち

$$1 - \frac{1}{\log n} + \frac{1}{n \log n} < \log(n!)^{\frac{1}{n \log n}} < 1 + \frac{1}{n} - \frac{1}{\log n} + \frac{1}{n \log n}$$

ここで,

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 - \frac{1}{\log n} + \frac{1}{n \log n} \right) = 1$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{n} - \frac{1}{\log n} + \frac{1}{n \log n} \right) = 1$$

ゆえに, はさみうちの原理から $\lim_{n \rightarrow \infty} \log(n!)^{\frac{1}{n \log n}} = 1$

これより, $\lim_{n \rightarrow \infty} (n!)^{\frac{1}{n \log n}} = e \cdots \square$

【総括】

和の評価方法の1つとして

「面積を持ち出して評価する」

という方法はレパートリーの1つとして準備しておきたいところです。

本問はポイントが凝縮されていて, 雑味がない良素材な問題だと思います。